

年	組	名前
---	---	----

県立盲学校に3Dプリンター

立体物触って楽しむ

南九州
コカ寄贈

視覚障害がある子どもたちの教育に役立ててもらおうと、南九州コカ・コーラボトリング（熊本市）は11日、大分市の県立盲学校に、3次元（3D）データから手軽に精巧な立体物を作ることができる3Dプリンターを贈った。

同校で寄贈式があり、同社の大石祐二専務が「授業の中で楽しく有効に使ってほしい」とあいさつ。正田敏雄校長が大石専務に感謝状を贈り謝辞。子どもたちを代表して西峻平君（高等部1年）が「普段、触ることができない大きな物や小さな物、言葉でしか聞いたことがない物を実際に形にして、触ってみたい。大事に使用します」とお礼の言葉を述べた。

3Dプリンターは、樹脂を何層にも重ねて固め、立体物を作る装置。式に参加した子どもたちは、コップをかたどった立体物を実際に触れて楽しさを体感し、「今度はツバメやスズメを作ってみたい」と話した。コカ・コーラウエストグループは、地域貢献と青少年の健全育成を目的に、1993年から九州の特別支援学校に情報機器教材の寄贈を続けている。県内への寄贈は初めて。



3Dプリンターで作った立体物に触って楽しむ県立盲学校の子どもたち=11日

(2013年12月12日朝刊21面)

大分市の県立盲学校に、3次元（3D）データから手軽に精巧な立体物を作ることができる3Dプリンターが贈られました。

① 3Dプリンターとはどのようなものですか、調べてみよう。

.....

.....

.....

.....

② 視覚障害がある人にとって、触れて確認できることは大切です。ほかにどんな工夫がされた商品を知っていますか？

.....

.....

.....

.....

③ 3Dプリンターのいろんな活用の仕方を考えてみよう。

.....

.....

.....

.....